

競合品目・競合企業リスト

平成30年2月13日

販売名	ボスミン注 1 m g	製造販売元	第一三共株式会社
-----	-------------	-------	----------

薬事分科会審議参加規程における、上記対象品目に係る競合品目、競合企業及びその選定理由は以下のとおりです。

	販売名 / 開発名	競合企業名
競合品目1	アドレナリン注0.1%シリンジ「テルモ」 (1mL)	テルモ株式会社
競合品目2	エピペン注射液0.15mg/エピペン注射液 0.3mg	マイランEPD合同会社

競合品目を選定した理由
現在国内で販売されているアナフィラキシーに用いられるアドレナリン製剤を選定した。

競合品目・競合企業リスト

平成30年2月13日

販売名	エピペン注射液0.15mg／ エピペン注射液0.3mg	製造販売元	マイランEPD合同会社
-----	--------------------------------	-------	-------------

薬事分科会審議参加規程における、上記対象品目に係る競合品目、競合企業及びその選定理由は以下のとおりです。

	販売名 / 開発名	競合企業名
競合品目1		
競合品目2		

競合品目を選定した理由
※競合品として選定しなかった理由：アドレナリン自己注射薬としての競合はありません。一方、アドレナリン注射薬には「ボスミン注」（第一三共）などがありますが、使用用途はエピペンとは明らかに異なります。

競合品目・競合企業リスト

平成30年2月14日

販売名	アドレナリン注0.1%シリンジ「テルモ」	製造販売元	テルモ株式会社
-----	----------------------	-------	---------

薬事分科会審議参加規程における、上記対象品目に係る競合品目、競合企業及びその選定理由は以下のとおりです。

	販売名 / 開発名	競合企業名
競合品目1	エピペン注射液0.15mg／エピペン注射液0.3mg	マイランEPD合同会社
競合品目2	ボスミン注1mg	第一三共株式会社

競合品目を選定した理由
現在国内で販売されているアナフィラキシーに用いられるアドレナリン製剤を選定した。

影響企業リスト

平成30年2月16日

対象成分	α 遮断作用を有する抗精神病薬	選定者	日本製薬団体連合会 安全性委員会
------	------------------------	-----	---------------------

薬事分科会審議参加規程における、当該審議により影響をうける企業を記載して下さい。
影響を受ける企業の数が増える場合には、その影響の大きい上位3社について記載
して下さい。

	影響企業名	影響を受ける代表的な医薬品名（販売名）
影響企業1	アステラス製薬(株)	セロクエル 25mg 錠
影響企業2	第一三共(株)	トロペロン錠 0.5mg
影響企業3	大塚製薬(株)	エビリファイ持続性水懸筋注用 300mg

影響企業を選定した理由
α 遮断作用を有する抗精神病薬を有する製造販売業者のうち、年間総売上高の上位3社を選定した。(2017年度薬事ハンドブックより)

競合品目・競合企業リスト

平成30年2月13日

販売名	1%ディプリバン注 1%ディプリバン注-キット	製造販売元	アスペンジャパン株式会社
-----	----------------------------	-------	--------------

薬事分科会審議参加規程における、上記申請品目に係る競合品目、競合企業及びその選定理由は以下のとおりです。

	販売名 / 開発名	競合企業名
競合品目1	セボフレン吸入麻酔液	製造販売元： 丸石製薬株式会社
競合品目2	スープレン吸入麻酔液	製造販売元（輸入元）： バクスター株式会社
競合品目3	フォーレン吸入麻酔液	製造販売（輸入）元： アヴィ合同会社

競合品目を選定した理由
<p>全身麻酔薬市場における 1%ディプリバン注、1%ディプリバン注-キットの競合品は吸入麻酔薬となり、プロポフォル製剤以外の静脈麻酔薬はほとんど使用されていない。</p> <p>2018年2月1日現在において、全身麻酔薬市場の約60%は吸入麻酔薬であり、競合品目製品を抜粋した。</p> <p>なお、競合品目の選定にあたり、本剤と同様の作用を有する薬剤を考慮した。</p> <p>本剤は、鎮痛作用を有しない全身麻酔・鎮静用剤である。</p> <p>鎮痛作用の有する吸入麻酔薬（亜酸化窒素）、鎮静作用を有しない吸入麻酔薬（酸素等）は除外した。</p>